

# 発進!

③

## もりおか復興支援ネットワーク

失業や住宅の二重ローンといった経済問題に絡み、被災地での家庭内暴力や依存症、自殺などの増加が懸念される中、盛岡市南大通1丁目のNPO法人いわて生活者サポートセンター(阿部和平理事長)は被災者の相談支援に向け動きだしている。

同センターは多重債務などお金のトラブルの原因となっている心の問題を解決するため、キャンセル依存症や家庭内暴力、自殺などを専門に相談支援を展開。息子の暴言が原因で家を出た母親の自立支援、キャンセルで借金を重ねる多重債務に

## いわて生活者サポートセンター

陥った男性の生活再建など数々のケースに対応してきた。

震災発生後は被災者の利用増加が見込まれたが、相談はこの9カ月で数件のみ。だが、藤沢俊樹事務局長は「失業給付が増加するのは来年1月ごろからだろう。問題が顕在化してからは遅い」と先手を打った取り組みの必要性を強調する。

## 生活相談 寄り添い

盛岡のセンターには相談員2人が常駐し、北上と釜石の両市にも相談員1人を配置している。個々の問題に向き合い、生活申請などに行き合っている。



被災者へ「寄り添う姿勢」をモットーに相談支援に取り組む藤沢俊樹事務局長(右)

「いわて生活者サポートセンター」は多重債務などお金のトラブルに絡んだ自殺や家庭内暴力、依存症などを専門に相談支援を行う機関として2002年に発足。経済、法律面の支援に特化した消費者信用生活協同組合と連携し、相談者の生活再建に向け「寄り添い型」の支援を続けている。問い合わせは019・604・86910へ。

今後はもりおか復興支援ネットワークに加盟する各団体と情報を共有し、支援が必要な案件があれば請け負う。釜石のサポートでも来年度から、キャンセル依存症のカウンセリング事業をスタートし、被災地支援の体制を強化する。

依存症を専門に相談員を兼務する藤沢事務局長は「被災地の生活再建はこれからが本番」と長期的な支援へ意欲を高めている。